

# 市長選を控え、 25年度は骨格予算！

## 25年度予算に盛り込まれた主な事業費

- 統合庁舎の整備事業 **3.8億円**  
建設・改修工事は、平成25年度から27年度までの3カ年継続事業で工事費として約39億円で進めるものです。
- 勝幡駅前の整備 **3.5億円**  
駅南口改札の設置および南ロータリー整備などの費用です。
- 児童クラブ室の増設 **2.6億円**  
平成26年度から、6年生までの学童クラブを実施するための費用です。
- 道路の拡幅や歩道整備 **2.5億円**
- 小学校の窓に飛散防止フィルム貼り **1.9億円**  
災害時に児童の安全を守ります。

大きな金額、上位5事業をあげました。

一般会計当初予算は、**209億円**  
新市長に判断をゆだねた額は、

**保留事業費の約8億円**

4月28日の市長選を控え、25年度の予算は、経常費や継続事業などの骨格予算で、八木市長は議会に提案しました。大きな金額のうち、主な事業は左記のとおりです。更に議員から提案された「安全な通学路事業」や「新電力導入事業」も盛り込まれました。また、実施するか否かの判断が持ち越された約8億円の事業は、新市長の判断にゆだねられます。

## 昨年度予算と比べて 膨らむ福祉の費用

### 《予算総額》

平成24年度予算	平成25年度予算(骨格)
<b>212.0億円</b>	<b>209.2億円</b>

### 《骨格予算でありながら、昨年より増えた費用(性質別)》

	平成24年度	平成25年度	増加した額
扶助費 (福祉の費用)	4,369	4,546	177
公債費 (借金の返済)	1,859	1,995	136
人件費	3,804	3,874	70

(百万円)

平成24年度当初予算と、平成25年度当初(骨格)予算と比較をしてみました。骨格予算でありながら、昨年度と比べ2億8千万円の減額にとどまっています。原因としては、介護・医療・障がい者事業や生活保護などをはじめとした福祉に関する費用が増えていることや、借金の返済額が増えていることが考えられます。

### 用語解説

骨格予算とは、新年度に市長選挙などを控えた自治体が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算です。